

安全・衛生・教育・保険の総合実務誌

安全スナップ

No.2405

特集Ⅰ

職場の熱中症予防
リスク把握し無理ない作業を

＜事例＞鹿島建設横浜支店
ツインシティ大神土地地区画整理工事

特集Ⅱ

セルフケア対策にマインドフルネス
メンタル不調の一次予防に
ニチレイ

ニュース

死亡災害 コロナ関連4倍に
厚労省 令和3年の発生状況を公表

電子版はカラーでご覧になれます!!
電子版登録(無料)のお問い合わせは

 0120-972-825

メルマガも配信中です!

7

1日号

2022

■ 災害のあらまし ■

ガラス製品メーカーに勤務する社員N（32歳）は、コロナ禍の影響による渡航制限も少しずつ緩和されたため、2年ぶりに海外の取引先工場の視察に向い、現地で工場のラインの確認や視察などを行っていた。新商品製造用の機械を自らテスト作業していた際に、機械の回転部分で指を挟まれ、負傷した。現地で応急措置的な治療を受け、帰国後、労災認定の手続きを行った。

■ 判断 ■

社員Nの海外渡航先でのケガは、海外での負傷ではあるが、業務上の労災として判断された。

■ 解説 ■

海外での労災認定であっても、業務上・業務外の判断基準は国内と変わらない。労災認定となる「業務災害」とは「労働者の業務上の負傷、疾病、障害または死亡」で「業務上」であるかの判断は災害が業務に起因し（業務起因性）、災害が業務の遂行中に発生＝労働者が事業主の支配ないし管理下にある状態で発生したものであること（業務遂行性）が必要とされるが、海外の工場視察中という（業務起因性）に、視察の目的でもあった工場機械の動作確認などのテストを行うという行為は、（業務遂行性）があると判断できる。

ただし、業務上・業務外の判断基準とは、少し話しが脱線してしまうが、海外での労災適用については、その業務が、海外「出張」なのか、それとも海外「派遣」中のものなのかについて注意する必要がある。というのも、海外での業務が海外「出張」として取り扱われる場合には国内での災害と

社労士が教える

労災認定の境界線

<執筆>

一般社団法人SRアップ21
社会保険労務士 小泉事務所
東京会

所長 小泉 正典

第342回

同様に労災保険給付を受けることができるが、海外「派遣」とみなされる場合には、海外派遣者として特別加入をしていなければ労災保険給付を受けることができないものとなる。

労働者災害補償保険法の適用については、法律の一般原則として属地主義がとられている。国内の事業からの「出張」の場合には労災保険の対象となるが、海外の事業に「派遣」され、その事業に使用される場合には労災保険の対象とならない。ここで、「出張」「派遣」という言葉の定義について説明しておこう。どちらも同じではないか？という疑問があるかもしれない。また、出張は短期間で、派遣は長期間で判断されるのではないかと想像してしまいがちであるが、労働者災害補償保険法のなかでは、きっちり区別がなされている。

海外「出張」にあたるか、海外「派遣」にあたるのかは、海外における勤務期間の長短によって判断されるのではなく、その労働者の海外における労働関係によって判断される。よって、たとえ海外での勤務が長期にわたる場合でも、国内の会社の指揮命令に従って業務に従事している場合には海外出張となる。逆に、海外の事業場に所属して、その事業場の指揮命令に従って業務を行う場合などは、海外派遣とみなされることになる。

もう少し具体的に見てみよう。

海外出張と海外派遣のケースを一般的に例示すると次のようになる。

<海外出張>

- ①商談
- ②技術・仕様などの打合せ
- ③市場調査・会議・視察・見学
- ④アフターサービス
- ⑤現地での突発的なトラブル対処



⑥技術習得などのために海外に赴く場合
<海外派遣>

- ①海外関連会社（現地法人、合弁会社、提携先企業など）へ出向する場合
- ②海外支店、営業所などへ転勤する場合
- ③海外で行う据付工事・建設工事（有期事業）に従事する場合（統括責任者、工事監督者、一般作業員などとして派遣される場合）

なお、「海外派遣」の場合は、海外派遣者に関して特別加入の手続きを行っていないければ、労災保険による給付の適用を受けられない。逆に言えば、海外派遣者に関して特別加入の手続きを行っていれば、前述の（業務起因性）（業務遂行性）の判断基準により、国内でのケガと同様に業務上外の判断がなされることになる。

コロナも落ち着き、今後、以前と同じように海外へビジネス目的で渡航することも増えるかもしれない。海外でケガがないよう行動には充分留意いただきたいが、その渡航が「出張」なのか、「派遣」なのかについては事前によく確認し、特別加入の手続きが必要な場合には、手続きを行ったうえで渡航することも検討する必要もある。

◇ SR アップ 21 : www.srup21.or.jp